

基準 10. 社会連携

10-1. 大学が持っている物的・人的資源を社会に提供する努力がなされていること。

《10-1の視点》

10-1-① 大学施設の開放、公開講座、リフレッシュ教育など、大学が持っている物的・人的資源を社会に提供する努力がなされているか。

(1) 10-1の事実の説明（現状）

地域に開かれた大学として、本校では開学時から主に情報閲覧室（図書館）、体育施設を一般に開放してきている。新潟中央キャンパスは、平成 15(2003)年の取得と同時に一般に開放し、合わせてオープンカレッジ（公開講座）等の利用に供している。

本校の情報閲覧室（図書館）は、当初は閲覧・複写・所蔵調査のみであったが、平成 10(1998)年より、18歳以上の県内在住者に貸出サービスも開始し、現在は高校生へも開放している。平成 18(2006)年度からは、推薦入試合格者の高校生に、入学前学習の一環として図書館利用を推奨している。貸出利用登録者は 166 人であり、通年活発に利用されている。利用登録者には利用証を発行し、入館時には利用証によって認証するが、利用範囲は学内利用者と同等のサービスを提供している。

また、平成 17(2005)年度より、地域の要望に応じて中学生の職場体験を受け入れている。情報閲覧室（図書館）にとっても大学や図書館業務の広報のよい機会として捉えている。

平成 15(2003)年 4 月から、本学の研究成果である、本学刊行物の全文や、平成 12(2000)年度から収集した重点図書を本学 HP（ホームページ）上で公開し、学外へ本学の資源を公開して利用に供している。

体育館棟には、アリーナの他、ウェイトトレーニング室、エアロビックトレーニング室があり、各種ウェイトトレーニング機器や、測定機器が整備されており、学外の利用者が平成 18(2006)年度は 2,880 人（前年比 1,200 人増）と、過去最多となった。通年利用可能な学外登録者も、平成 18(2006)年度は 173 人と過去最多であった。

本校校舎は、地元高等学校の課外授業、専門学校での模擬試験、公務員試験、各種国家資格試験等々の試験会場としても活用されている。

平成 15(2003)年春、新潟市街地の地元銀行本店の跡地・建物を取得し、改修後、新潟国際情報大学新潟中央キャンパスとし、この中に生涯学習活動の実施及び新潟国際情報大学生のための補助的教育活動を目的とした新潟国際情報大学エクステンションセンターを設置した。その企画・運営には、センター長（学長）のほか、民間企業者、新潟市の行政経験者、本法人理事、本学教員 2 人、事務局長、総務課長が管理運営委員として参画している。このエクステンションセンターでは、平成 16(2004)年から本格的に生涯教育・学習のためのオープンカレッジを開始した。その内容は語学講座、パソコン講座、資格講座、ビジネス講座、文化・教養講座などであり、大学が開講する生涯教育・学習に相応しい講座となっている。平成 16(2004)年度前期に 28 講座、同年後期に 29 講座が開講された。平成 18(2006)年度前期には 51 講座、後期には 55 講座に達し、この年度の受講者は 900 人を越えている。ちなみに平成 19(2007)年度前期開講予定は 58 講座である。（表 10-1-1）

表 10-1-1 平成 19(2007)年度前期開講講座一覧表

■文化・教養講座	■語学講座
新潟の地形と方言のかかわりを知る	プラーベートレッスン [英語・ロシア語・中国語・韓国語]
新潟の方言を極める	英会話 1(レベル 1)
新潟の方言の思わぬ効果	英会話 3(レベル 3)
越後髻女唄(えちごごぜうた)を知る	英会話 5(レベル 5)
越後髻女唄(えちごごぜうた)をうたう	英会話 6(レベル 6)
歴史的建造物の現在	ビジネス英会話(レベル 6)
株式投資の基本	シニアのための英会話 1(レベル 1)
失敗しない金融商品の選び方	シニアのための英会話 2(レベル 2)
暮らしとお金	シニアのための英会話 3(レベル 3)
初めてのカラーコーディネート	TOEIC 対策 [650~750 点] (レベル 6)
心を結ぶ会話術	中国語会話 1(レベル 1)
■ビジネス講座	中国語会話 3(レベル 3)
マーケティング入門	韓国語会話 1(レベル 1)
マーケティング実務	韓国語会話 3(レベル 3)
経理の基礎知識—仕訳と帳簿組織	韓国語会話 5(レベル 5)
企業と税務	韓国語会話 5(レベル 5)
財務諸表の仕組みと見方	韓国語会話 6(レベル 6)
やさしく学ぶ日本経済	■パソコン講座
コーチングスキル【初級編】	ゆっくりたのしむ Word②
コーチングスキル【中級編】	ブログをつくろう
コーチングスキル【上級編】	初心者パソコン①
ビジネス・コーチング【基礎編】	初心者パソコン②
ビジネス・コーチング【応用編】	初級パソコン
コーチングスキルアップ講座	パソコンでデジカメ活用
■資格講座	Word でつくるデジタルアルバム
ファイナンシャル・プランニング 技能検定 3 級合格講座	ゆっくりたのしむシニアパソコン①
ファイナンシャル・プランニング 技能検定 2 級合格講座	ゆっくりたのしむシニアパソコン②
日商簿記検定 3 級合格講座	ゆっくりたのしむシニアパソコン③
秘書技能検定準 1 級合格講座	実務でいかす Word 活用法
色彩検定 3 級合格講座	実務でいかす Excel 活用法
行政書士合格講座	

また、新潟中央キャンパスの 1 階と 2 階は常に一般学外者にも開放されている。1 階ロビーには、東京藝術大学長の宮田亮平先生のモニュメント「シュプリング」が設置されコミュニティスペースとして、また、カフェテリアにはインターネット接続可能な無線 LAN 環境が整備され利用されている。2 階は、図書の閲覧やインターネットが自由に使える

る「情報・図書室」として、落ち着いた学習スペースを整備し高校生を含めた多くの一般学外者の利用に供している。

自治体や団体の要請に応え、表 10-1-2 に示すように教員は学外の諸活動にも積極的に参加している。

表 10-1-2 本学教員による学外活動（平成 19(2007)年度の主たるもの）

済生会新潟県支部副会長	新潟県医学振興会理事長
にいがたインターンシップ推進協議会副会長	環日本海懇談会幹事
新潟市新事業創出支援施設利用者審査委員	新潟地方社会保険医療協議会公益委員
財団法人會津八一記念館評議員	「にいがた市民大学」運営委員及び講師
新潟市男女共同参画推進センター運営委員	新潟市西地区自治協議会委員
新潟市総合計画審議会委員	新潟市西川図書館協議会委員
新潟県立独立行政法人雇用・能力開発機構運営協議会委員	新潟市中央卸売市場開設運営協議会委員
信越情報通信懇談会役員	新潟県卸売市場審議会委員

また、平成 11(1999)年より映画を教材とした公開講座「映画のなかの市民社会」を毎年実施している。これは、受講者があらかじめ指定された映画を映画館で鑑賞（予習）し後日、同映画館や新潟中央キャンパスを会場にして、本学教員が講師となり映画に描かれた「市民」について考えるというものである。新潟の市民映画館とのタイアップにより、毎回 80～100 人の一般市民の参加がある。

(2) 10-1 の自己評価

新潟中央キャンパスは新潟市の中心部にあり、企業・機関の研修会、資格試験、各種イベント等に利活用されており、地域社会に対して本学の生涯教育・学習への取組みが認識される良い機会となっている。また、同キャンパスにおいて平成 16(2004)年度からスタートしたオープンカレッジは、新潟市中心部という交通至便の地での開講ということで受講者からは好評であり、回を重ねるに従い講座数、受講者数とも増え、受講生によるアンケート調査の結果からも充実した内容と評価できる。

「映画のなかの市民社会」（公開講座）は、100 席程度の会場が毎回ほぼ満員で、“映画という身近な手段を通じ難しいテーマも理解しやすい”などとの歓迎の声も多く、地域に開かれた大学としての役割を果たしている。

本校、新潟中央キャンパスとも開学以来積極的に地域社会に開放されており、利用者の増加傾向からもその役割を十分に果たしていると評価できる。

(3) 10-1 の改善・向上策（将来計画）

大学施設の開放、教員の社会的学外活動は、原則現状を維持しつつ地域に開かれた大学として更に地域社会の要望に応えることに努めたい。

広く社会に貢献する大学として、オープンカレッジの更なる充実を図り受講しやすい日時の設定等も再検討する。個人受講者に加え法人（企業・機関）の加入制度を平成 19(2007)

年度より開始した。

高校や企業等への大学授業の公開として、教員の分野別教育内容を記載したパンフレットを作成配布し、大学教員が積極的に出張講義を行う等、知的資源の社会への還元を図る。

10-2. 教育研究上において、企業や他大学との適切な関係が構築されていること。

《10-2の視点》

10-2-① 教育研究上において、企業や他大学との適切な関係が構築されているか。

(1) 10-2の事実の説明（現状）

本学情報文化学部と新潟大学人文学部、敬和学園大学人文学部は、平成13(2001)年度より単位互換に関する協定を結び、「特別聴講学生」として、協定大学が定める授業科目を履修し単位の取得が認められる制度を開始した。平成18(2006)年度現在、新潟大学経済学部、新潟経営大学経営情報学部、新潟産業大学経済学部を加えた5大学(6学部)間で単位互換制度が整備されている。また平成15(2003)年には、本学と新潟大学、長岡技術科学大学、上越教育大学、新潟医療福祉大学の5大学において知的財産基本法の定めにより新潟県大学連合知的財産本部を設置し、知的財産の創出、取得、管理、活用を支援し研究成果の社会への還元と推進に取り組んでいる。

平成6(1994)年に開学した本学は、1期生が3年次生となった平成8(1996)年の夏休み期間を利用し、情報システム学科において一般社会における情報システムの運用を学ぶための「学外実習」を正課として開始した。また、平成15(2003)年度より就業体験を目的とした「インターンシップ」を情報文化学科においても導入し、平成18(2006)年度における実施企業数は新潟県内を中心に約50社となっている。

国際化教育を1つの柱とする本学では、2年次の後期に「海外派遣留学制度」(情報文化学科)、「海外夏期セミナー」(情報システム学科)を実施しており、ロシア、中国、韓国、アメリカ、カナダの各提携校に学生を送り出している。また、一般社会人に対する公開講義として「情報システム特論」を開講しており、最新のIT化の動向と課題について学ぶため関連事業の最前線で活躍している産業界のキーパーソンを講師に招き実施している。

(2) 10-2の自己評価

国立大学を取り込んだ単位互換制度を整えてはいるが、希望大学に偏りが見られ履修学生が必ずしも増加傾向にあるとはいえない。

学外実習、インターンシップの実習学生の比率は、学部全体で26%前後となっており、キャリア教育の一環として順調に経過していると思われる。

本学の国際化教育の大きな特色である海外提携校への「海外派遣留学制度」及び「海外夏期セミナー」については、学生には奨学金を給付し参加を奨励しており、加えて、その内容は極めて充実しており高く評価できる。また、情報システム特論は、毎年IT産業界で活躍されているエキスパートを招聘し、実社会におけるITの最前線を学んでおり、合わせて公開講義として一般社会人の授業参加からも刺激を受け充実した内容となっている。

(3) 10-2の改善、向上方策（将来計画）

キャリア教育の一環である学外実習、インターンシップについては、実習希望学生に対し受け入れ企業の数、職種が必ずしもマッチしているとは言えず、受け入れ企業の更なる開拓を行って参加学生の割合を全体で30%に上げる。また、過去3年間にわたり実施されてきた新潟県異業種交流会協同組合主催の産・官・学連携のイベント「産・官・学 OMIAI」を積極的にサポート（主にIT関連）する体制を作る。

海外提携校との関係は極めて良好であるが、年度によって参加者数に大きな変動が見られるため、実施目的等のガイダンスを徹底する。

10-3. 大学と地域社会との協力関係が構築されていること。

《10-3の視点》

10-3-① 大学と地域社会との協力関係が構築されているか。

(1) 10-3の事実の説明（現状）

平成17(2005)年度より国際交流インストラクター（本学学生）を養成し、国際理解のためのWS（ワークショップ）を実施している。

これは、(財)新潟県国際交流協会の委託事業として国際協力機構（JICA）の協力も得て、インストラクターの研修を終了し、新潟県国際交流協会の認証を受けた本学の学生が新潟県内の小・中・高校に赴き、国際理解を得るためのWS等を実施するものであり、インストラクター（学生）は、平成18(2006)年度は28人と前年度のほぼ倍となっている。平成18(2006)年度の国際交流インストラクターのWS実施校は、表10-3-1となっている。

表10-3-1 平成18(2006)年度国際交流インストラクターWS実施校

	校 名	実 施 日
1	村上中等教育学校	10月14日（土）
2	県立村上桜ヶ丘高等学校	10月16日（月）
3	新発田市立加治川中学校	10月22日（日）
4	魚沼市立東湯之谷小学校	11月10日（金）
5	新潟市立西内野小学校	11月17日（金）
6	県立新潟翠江高等学校	11月20日（月）
7	県立新潟翠江高等学校	11月22日（水）
8	阿賀野市立前山小学校	11月24日（金）
9	上越市立針小学校	12月1日（金）
10	新潟市立新通小学校	12月8日（金）
11	加茂市立須田小学校	12月15日（金）

「地域 ICT（情報通信技術）未来フェスタ 2006 in にいがた」（主催：同実行委員会（新潟県）、後援：国土交通省）が、平成 18(2006)年 10 月 27～29 日の間に 106 の企業、団体が出展、114 の企業、団体が協賛して新潟市を中心に開催された。

ICT 利活用に係る総括リレートークには、本学学生が 4 人のゲストスピーカ（民・産・学・官）の一人として参加し、ICT による新潟の未来図について提言した。また、約 70,000 人の来場者に対応すべく延べ 78 人の学生がボランティアとして運営に携わった。

新潟市がすすめる中学生の職場体験では、平成 18(2006)年度は地元の 2 中学校から 6 人の生徒を受け入れ、情報閲覧室（図書館）、及び総務課（事務局）でキャリア教育の一環としての職場体験を実施した。

本学周辺は新興住宅街であり、年々住宅が増えると同時に、子供も増えつつある。幼児、児童を狙った悪質な事件が報道される昨今、地域全体による子供たちの安全対策が急がれており、その一環として平成 17(2005)年より、地元自治会、小学校の委託を受け「こども 110 番の家」として登録し看板を設置した。

また、平成 13(2001)年に全国に警察協議会が発足したことに伴い、本学の地域を管轄する新潟西警察署においても「西警察署協議会」が設置され、当初より本学は委員として参加し警察業務全般について大学の立場から提言している。

平成 14(2002)年に日本で開催された「FIFA2002 サッカーワールドカップ」の新潟大会では、学生、教職員が JR 東日本と協働し、JR 新潟駅構内において外国人観戦者に対する誘導、案内等の通訳を兼ねたボランティア活動を行い、学生らしく誠実な対応に、JR 東日本新潟支社から感謝状が贈呈された。

本学は、新潟県より国民保護法における避難場所や災害時における避難場所として指定されており地域防災の要として協力している。

(2) 10-3 の自己評価

新潟県、新潟市の助成や、一般企業の寄附を受け設立された本学は、開学当初より学内に地域交流委員会（現在広報委員会に統合）を設け、地元自治会との懇談会や開学記念講演会等を通じて地域との交流を積極的に図った。この間サッカー W 杯への協力等、国際化教育を学ぶ本学学生によるボランティア活動は、異文化を肌で感じると同時に社会貢献として満足できるものであった。

(3) 10-3 の改善、向上方策（将来計画）

国際交流インストラクターに参加する学生の国際理解に関する意識は高いものがあるが、海外スタディツアー等が今後計画に加わることが予想され、正課授業との日程調整等、学業に支障のない期間（夏期休業中等）を充てるなどしたい。

本学の周辺が住宅地として開発がすすむにつれ、子供の数もふえることによる通園、通学等の交通安全についてガイダンス等で学生に徹底する。一方で幼児、児童を狙った悪質な事件から子供たちを守るため大学及び地域全体として安全対策を講じる。

【基準10の自己評価】

大学と社会との連携、協力関係については、大学施設の開放、オープンカレッジ（公開講座）、及び地元地域への協力等からも充分になされている。

また、企業や他大学との関係も単位互換や学外実習、インターンシップ等により一定の評価ができるが、産・官・学の連携による具体的な活動が充分とは言えない。

国際交流インストラクターによる WS は、小、中、高校生の国際理解への意識付けと、学生自身の国際理解と社会貢献に対する積極的な姿勢づくりに役立っている。

【基準10の改善、向上方策（将来計画）】

基本的には現状を維持しつつ、更なる充実を図る。特に産・官・学の連携を深める事業の推進を図るため、新潟市異業種交流協会や地場産業組合へ積極的に出向きヒヤリングを行う。学生の社会貢献への意識の涵養のためにキャリア開発教育（特に授業「キャリア開発1・2」）を充実させる。